

広報

やまこし

1979

4月

第130号

発行/新潟県古志郡山古志村役場 電話 (025859) 2331 ■印刷/大川印刷株式会社 ■毎月1日発行



卒業式

三月二十四日、村内各小学校で卒業式が行われた。種芋原小学校では今年校舎が新築されるため、現校舎での最後の卒業式。今年の卒業生は十四名。式上、校長が「卒業は終わりではなく、始まること」と、また教育委員長が「おめでとつは、お芽出とつとも書く。すくすく元気に伸びてほしい」と激励した。



**4月8日は
県議会議員選挙の
投票日です**
投票時間 午前7時～午後6時

人口の動き ■人口 3,764(-3) 男 1,880・女 1,884 ■世帯数 951(0)
■2月中のうごき □出生 0 □死亡 3 □転入 3 □転出 3

停電のお知らせ

期日 4月11日(水)
時間 8時～13時
区域 山古志村全域

このため四月から、後記の医療機関の協力を得て、高額療養費の受領委任制度を実施します。これは自己負担が三万九千円を超えた

国民健康保険

自己負担は三万九千円まで

高額療養費の受領委任制度 4月から実施



お知らせ

県保では、入院などで一部負担金が三万九千円を超えた場合、その超えた分について、これまでは二か月後に本人へ払い戻しする方法(償還払い)をとってまいりました。しかし、多いときは数十万円も立替えしなければならず、経済的に

院の窓口で一月三万九千円を支払えばよいことになりました。ただし、この制度の適用を受けられる方は、超過分の支払いが困難な人に限られます。また、この制度は本人の申出が必要ですから、希望者は必ず病院の窓口へ申出ください。

協力する医療機関

長岡市 長岡赤十字病院・中央総合病院・吉田外科病院・宮内病院・長岡保養園・立川総合病院・田宮病院
小千谷市 小千谷総合病院・魚沼総合病院・国立小千谷療養所
小出町 県立小出病院
(詳しいことは住民課へ)

ポリオ生ワク投与

期日	会場	時間
4月12日(木)	種芋原診療所	11:30~11:40
4月13日(金)	竹沢	10:00~10:30
	虫亀	14:30~15:00

犬の登録及び狂犬病予防注射

昭和54年度の犬の登録及び第1回狂犬病予防注射を実施します。犬を飼っている人は必ず受けてください。

手数料	犬の登録	2,000円
	注射済票交付	300円
	注射料金	1,000円
	合計	3,300円

期日	会場	時間
4月24日(火)	虫亀診療所	11:00~11:30
	役場	13:00~13:30
	東竹沢診療所	14:00~14:30
4月25日(水)	民俗資料館	11:00~11:30
	種芋原公民館	13:00~13:30

出稼ぎ者の帰郷時検診

期日	会場	時間
4月25日(水)	役場	13:00~15:00

献血にご協力ください

献血車「ゆうあい号」が次のとおり来村します。みなさんのご協力をお願いします。

期日 5月1日(火)
午前10時～午後3時
(12時～1時は昼食休み)

会場 役場前

民よりのつどい



村職員の移動

四月一日付()は旧所属

- ▼住民課 佐藤誠志(産業・五十嵐助一(建設)・星野光夫(農業))
- ▼産業課 小川喜太郎(住民)
- ▼建設課 草間頼雄(住民)・川上敏郎(住民) ▼農業委員会 坂牧徳三郎(住民) ▼竹沢保育所 佐藤美夜子(虫亀保)・坂牧世伊子(種芋原保)・青木美英子(同)・長島るみ子(虫亀保) ▼虫亀保育所 星野アヤ子(竹沢保)・松田イッ子(同) ▼種芋原保育所 五十嵐静子(竹沢保)・坂牧由美子(虫亀保) ▼種芋原小学校 川上清吉(種中) ▼種芋原中学校 小川庄平(種小) ▼退職 沼付 小堀章子(竹沢保)

定例村議会

昭和五十四年度予算可決 総額十七億六、六八二万円

三月十二日から開かれた昭和五十四年第一回定例村議会では、昭和五十四年度予算など、三十二件の議案が提出されました。一年間の元締めとなる重要な議会だけに傍聴者もあり、議員も慎重審議を重ねそれぞれ原案どおり可決承認され、二十三日に閉会となりました。



招集のあいさつ

今冬は八十年振りとかの暖冬で降雪が少なく、積雪量の最高は一月二十四日で竹沢一・四八m、種芋原二・一〇m、屋根の雪おろし二・四回と、平年の半分位でありました。小雪と雨天、晴天日の多いことから、県道の災害復旧工事が一冬中続けられ、九五%は終り、村内に入った貸金も多かった様子であります。

三月十二日から開かれた昭和五十四年第一回定例村議会では、昭和五十四年度予算など、三十二件の議案が提出されました。一年間の元締めとなる重要な議会だけに傍聴者もあり、議員も慎重審議を重ねそれぞれ原案どおり可決承認され、二十三日に閉会となりました。

いっぽう、錦鯉の売行きは低迷していますが、一月下旬に東京で行われた全日本錦鯉品評会に本村から十九点出品され、入賞九点と入賞率全国最高を刷りました。また、家内工業が全般的に振るわず、経営者の苦勞が続けられています。しかし、国内、県内の景気は上昇しはじめた様子ゆえ、これからやがて明るさも見出すことと考えられます。

七億六千七百万円と四九・九%の伸びとなりました。一般会計歳出では、六・二六災害の復旧や小学校建設で建設事業費が全体の五四・三%を占めるに至りました。その他詳細は別に示す通りです。

歳入では、国庫支出金四億二千九百万円―五倍の伸び、村債二億四千九百万円―六七・三%の伸び、また地方交付税五億三千五百万円など依存財源を全体の八七・五%と見込んでいます。また村税その他可能な限り見込み、さらに基金から八千万円繰入れていきます。

このように、多少無理なような内容をも含んでいるので、執行に当たって十分注意する必要があると覚悟しています。

条例関係

◆特別職の給与と条例の一部改正
◆教育長の給与等に関する条例の一部改正

村長	三七〇、〇〇〇円
助役	三〇〇、〇〇〇円
収入役	二九二、〇〇〇円
教育長	二四八、〇〇〇円
議長	一〇四、〇〇〇円
副議長	八一、五〇〇円
常任委員長	七八、〇〇〇円
議員	七四、〇〇〇円



◆消防団員の定員、給与等に関する条例の一部改正
◆職員の旅費条例の一部改正
◆国民健康保険条例の一部改正

◆国民健康保険条例の一部改正
助産費を八万円に、葬祭費を三万円に引上げるもの。また、育児手当金を助産費といっしょに支給するものとした。

◆広場(駐車場)の設置及び管理に関する条例の制定
広場(駐車場)を二か所設置しその管理について定めたもの。このほか、国民年金条例の一部改正等が、それぞれ原案どおり可決承認されました。

補正予算

◆昭和五十三年一般会計補正予算(第五号)

歳入歳出それぞれ一、三二七万円減額し、予算総額は十一億一、七二一万円となりました。

主なものは、養鯉池の災害復旧工事請負費四、〇〇〇万円の減、道路災害復旧工事請負費九三三万円の追加、財政調整基金一、九五二万円の追加などです。また歳入では、水産施設災害復旧の県補助金一、二二二万円の減などとな

つています。
◆特別会計補正予算
年度末にあたり、それぞれ内容補正がありました。

人事関係

◆助役
任期満了による助役に、高橋生二現助役の再任が同意されました。

◆固定資産評価審査委員会委員
任期満了に伴う同委員に、関和男さん(梶金)の再任が同意されました。

その他

農業共済の無事もどし(対象四七二人、三〇三、〇〇九円)が議決されました。また五十四年度の賦課金および賦課単価が議決されました。

賦課総額	五三六、〇〇〇円
賦課単価	
水稲共済割10a当り	一五〇円
蚕繭共済割1箱当り	一五〇円
家畜共済割共済金額の〇・三%均等割一人当り	一五〇円

『それぞれの持場で生かせ 火の用心』

—春の火災予防運動—



春は空気が非常に乾燥し、強い風の吹くことが多くなります。このため春季火災予防運動が実施されますが、新潟県では四月一日から七日までの一週間をこの期間と定め、運動が繰広げられています。

幼児・お年寄りを火災から守る昭和五十三年の焼死事故は、住宅火災によるものが圧倒的です。そして、幼児・お年寄りが半数以上を占めるといういたましい結果

新入学(園)児童の交通事故防止運動

4月4日～13日

春四月、新入学や新入園のかわい子が通学(園)し始めます。また、雪も消え、元気がいっぱいかけ回っている姿も目に映ります。ところが、幼児以外の子供の交

通事故死の第一位は、毎年、幼稚園児と小学生で占め



春が一番事故の起きやすい時期なのです。さらに、この

道路では絶対避はせないようにしましょう。また子供と一緒に外出する際、子供の手本となり交通安全について教えてください。

一般歩行者は――

子供は大人のまねをしたがりです。まず大人がルールを守りましょう。また、危ない歩行や遊びをしていたり、横断できないでいる子供を見かけたら声をかけるか、手を引くなどして安全を守ってやりましょう。

忘れていませんか

バイクの自賠責保険

無保険は違反点数6点・免許停止に

女性にも手軽に乗れることなどからバイクの利用者が急増して、全国で約一千万台あるといわれています。

ところで、バイクは法律で自賠責保険の加入が義務づけられています。未加入のバイクも多くあるのが現状です。

「小さいバイクだから、事故を起こしてもたいしたことないだろう。」とんでもありません。毎年バイクにはねられ、約二百人が生命を落とし、一万五千人以上がケガをしています。また、無保険のため賠償金が払えないなどの問題も起きているのです。



事故を起こしてからでは遅すぎます。バイクをお持ちの方は、一度自賠責に入っているか確かめください。期間が過ぎて、契約切れの場合も多くみられます。また、無保険で走ると、六か月以下の懲役または五万円以下の罰金、さらに違反点数六点となり、免許停止処分となります。

加入手続きは、もよりの損害保険会社、代理店、農協などへどうぞ。保険料は一二五ccまでのバイクで、一年もの五二〇〇円、二年もの六、六五〇円、三年もの七、九〇〇円となっています。

昭和五十四年度予算

災害復旧 学校新築に 五億八千万円

村の1年の仕事を決めるともいえる当初予算。この昭和54年度の予算は、一般会計、特別会計あわせて17億6,682万円となりました。これは前年度とくらべると49.9%もの大巾な伸びとなります。

ことしはどんな事業をするのか……主なものを紹介します。

一般会計	15億2,472万円(+63.8%)	村民1人あたり 税 12,012円 一般会計予算額 405,080円
国保特別会計	1億7,008万円(-6.3%)	
診療所特別会計	5,537万円(+10.7%)	
農業共済特別会計	1,665万円(+3.6%)	

()は前年対比

昭和54年度一般会計予算内訳

村税	4,521万円(3.0%)	教育費	4億4,099万円(28.9%)
繰入金	8,000万円(5.3%)	災害復旧費	2億8,236万円(18.5%)
繰越金	2,000万円(1.3%)	土木費	1億9,459万円(12.8%)
その他	4,475万円(2.9%)	総務費	1億4,337万円(9.4%)
地方交付税	5億3,500万円(35.1%)	農林水産業費	1億3,423万円(8.8%)
国庫支出金	4億3,860万円(28.8%)	民生費	1億2,009万円(7.9%)
村債	2億4,913万円(16.3%)	公債費	1億0,116万円(6.6%)
県支出金	9,413万円(6.2%)	衛生費	4,063万円(2.7%)
その他	1,790万円(1.1%)	議会費	2,821万円(1.9%)
		その他	3,909万円(2.5%)

()は構成比

歳入

歳出

心配ごとはありませんか

みなさんの日常生活の中で、心配ごと、困っていることで、だれにも相談できず悩んでいることはありませんか。

こんなときは、お近くの民生委員にご相談ください。窓口は各委員の自宅となっております。

また、毎週月曜日の九時から十一時まで、役場でもご相談に応じています。

長岡職安の移転について

長岡職業安定所の新庁舎が完成し、三月十二日より業務が開始されました。

新庁舎は鉄筋二階建て。一階は職業紹介関係、資料室、二階は庶務、雇用保険関係及び会議室などとなっております。

新庁舎の場所
長岡市中沢町字太田五〇〇一
(中央看護専門学校隣り)
(長岡駅東口より徒歩三分)

駐在だより

長岡警察署
竹沢・種芋原・蓬平駐在所

- 春の防犯運動
おおかあさん、おうちのカギは
だいじょうぶ?
- みんなが防ごう子供の水死
○新入学児童園児の交通事故防止
○横断は、見るくせ、待つくせ、止まるくせ
- 可愛い子供たちを
交通事故から守りましょう
- 春山の遭難防止
○山菜とり、なれた山でも
初心の注意



竹沢駐在所三沢巡査着任

竹沢駐在所の富井警部補が退職により十日町市へ転任されました。

三沢さんは栃尾生れ、二九歳。奥さんと男の子供との三人家族。趣味は一応なんでもこなすとか。「無免許と飲酒運転には厳しい」とのこと。十分ご注意を。

災害復旧

昨年、村内に大きな被害をもたらした六・二六災害。今年はこの災害の復旧に力を入れます。その内容は次のとおりです。

村道	五三件
河川	七件
農林道	一五件
治山治水	三件
田	二〇件
ため池・水路	一三件
養鰻池	約一〇〇件



来年からは新しい校舎で

種芋原小学校を新築

虫亀に教員住宅

大正二年に建てられた種芋原小学校が、六十五年を過ぎ老朽化したため新築されます。四月に旧校舎は取壊され、すぐ工事に着手、今年中には完成し、来年から新しい校舎で授業できる予定になっています。この事業には一億九、七五四万円がかかります。

また、虫亀に教員住宅が新築される予定です。そのほか、民俗資料館を整備し来春には開館する予定、などなっています。

村道の整備7線



道路の整備は毎年最重要点に行われてきました。今年も道路維持、改良、舗装、除雪、また県道工事の負担金などに、一億六、三〇〇万円を計上しました。

ことしの村道の改良、舗装計画

一般会計

六三・八%の伸び

景気回復のおくれから、市町村などの自治体はいまきびしい財源難となっています。こうした中、昭和五十四年度一般会計予算を十五億一、四七二万円としました。前年度に比べ、五億九、四二二万円、六三・八%の大巾な伸びとなっています。

これは、本年度に種芋原小学校新築と六・二六災害の復旧があるためで、この二つで約五億八、〇〇〇万円。一般会計の三八・〇%を占め、今年度の伸びた分と同じくらいになります。つまり、この二つの事業を除いてしまうと、前年度とほとんど同じということになってしまいます。

しかし、人件費、扶助費、公債費など義務的経費は増加するにっぽう。このため、役場内をはじめとし、経費の節約を最大限に努めています。

また歳入面でも、大きな事業があるため、国庫支出金が約五倍、村債が六七・三%もの伸び。反面村税は八・一%の伸びで歳入全体の三・〇%しかありません。

まさに、せいっぱい背伸びした予算ともいえるでしょう。

第3話

本当の畜産は山の資源を 利用することから始まる

山古志に

本当の牛飼いはいない

今回もまた村をひとり見せていただきました。その中で多頭

肥育の畜舎を見せてもらったのですが、あんな牛の飼いやをしていて採算がとれるだろうか、と思っ

てすごく心細くなりました。この人たちは牛の飼いやを知らないのではないかと思つたのです。

あのようにして牛を畜舎につないで置いて、濃厚飼料とワラだけ与えて、それで水ぶくれにして売

草資源を生かす

アメリカでは第一次世界大戦のあと食料が不足していた。そこへロシアが何億トンという大量の小麦を、ニューヨークの市場にたたきつけたことが、昭和初期の大きな不況のもとになるんです。

そのアメリカが今、すごい食料の生産力を持つようになったのは、彼らが荒れはてた土地を、今日のように改良していったところにある。その食料問題で今日日本がすごく圧迫せられているんです。

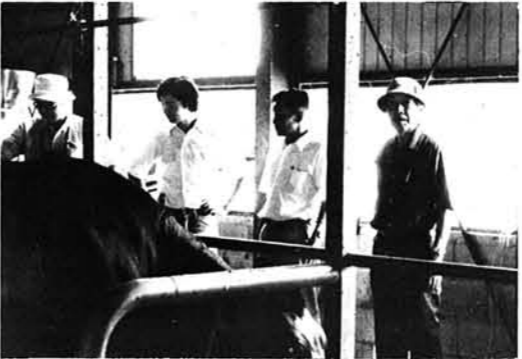
アメリカの農業や畜産を盛んにしていく基になったクズが、現在日本では屑のように捨てられています。土地にからませておいて、刈る人が一人もいないじゃないですか。これほど山を荒らしておいて畜産なんかできるものではないって気がしたんです。

山古志で本気になって畜産をお考えになるのなら、豊富にある山の資源をいかに利用していくか、を考えることです。それが畜産の根本問題になると思います。今回村の中を歩いてみて、一番先に思ったのはそれなんです。今みんな無駄にするのが好きなようですが、山古志の人は特別大きな無駄を、平気でしているなと思って

中央大平原が 畜産地帯に変わる

そればかりでなく、ご承知のようにクズは豆科の植物ですから、牛の飼料にはすごくいいんです。

それまではアメリカでは畜産は、アパラチヤの東北のすみっこでやっていました。そこへ中央大平原からクズを送ってやったのですが、牛をここへ連れて来れば、わざわざ飼料を運ばなくてもいいじゃないか、ということで中央大平原の西部が畜産地帯に変わっていくんです。それで驚くことにアメリカの牛が一〇倍に増えたんです。



牛舎をみる宮本先生

たかという人と、彼は例の短期派米移民でアメリカへ行つて、畜産の勉強をしてきたのです。そして、「いい肉をつくるには、高い飼料を食わせる必要はない」とどうどう言っているようになった。

みんなが参加できる 畜産を

現在彼が中心になって改良した三〇〇ヘクタール位の牧野が山の上にあります。そこで何百頭という牛が遊んでいます。そうなる

とみんなが牛を飼う気になるんです。特殊な人だけでなく、みんなが飼う気になるんです。そういう場をみなさん方が作っていかねばならないと思う。

地域牧場をつくる

山古志の畜産を村全体のものにしていくには、まず牧野を増していくことでしょう。地形の関係から大きな牧場をつくることは困難でしょうから、各地域ごとに傾斜面をできるだけ牧場にきりかえて



萱峠牧場に

市場へ出す前にはちゃんと濃厚飼料を食わせていますが、それが市場で売られるときには値段が安いことにはない。むしろ五島の牛は特別高いんです。なぜ彼がそのような経営ができて

濃厚飼料に対する 迷信を捨てよ

さて草ばかり食わせていると、牛の肉の質が悪くなるという話が出ていますが、このような考えは早くお捨てになった方がいいと思います。たしかに草ばかり与えますと脂身が黄色くなります。欧米人はそれをちっとも気にしないんですが、日本人は脂が白くないと承知しない。そこで出荷の二、三カ月前から濃厚飼料を食わせるんです。そうすれば脂は白く変わっていき、値段が安くなるということとは決してない。

アメリカから日本に来ている飼料の中にも、クズの葉を裁断したものが、濃厚飼料として来ているはずなんです。日本のクズを食わ

せたら肉質が悪くなって、アメリカのクズを食わせたら肉質が良くなるなんておかしな話ですわな。ですからまず濃厚飼料に対する迷信を早くお捨てになることだと思ひます。その上でどうしたら肉質を落さないようにするかを研究することの方が大切だと思います。

労力をかけずに いい牛をつくる

私が親しくしている友達の中で一番畜産に力を入れている人が、長崎県の五島におられます。彼は牛を一〇〇頭ほど飼い、そのほかに煙草を二町歩ほどやっています。しかもその労力は彼と奥さんと研究生が一人いるだけなんです。あまり時間も労力もかけずに

すごくいい牛を飼っています。朝、牧草を刈りに行って、それを朝食わせておいて、日中は牧場へ放して、夕方になるとまた牧草を刈ってきて食わせる。だから畜舎にうんこを落とすことは少ない。尻はみんなきれいだし、それに丸々と肥えています。

市場へ出す前にはちゃんと濃厚飼料を食わせていますが、それが市場で売られるときには値段が安いことにはない。むしろ五島の牛は特別高いんです。なぜ彼がそのような経営ができて

いくことです。その場合まずは公有林野を利用する。それだけでは不足でしょうから、個人所有の土地を一応貸してもらおうという形式をとって、牧場化していくことだ

と、山古志に山地酪農をとり入れることも可能だと思ひます。山地酪農は一部の人が熱心に取り組んでおりまして、発展しはじめております。山古志にはそれに適した土地がたくさんあるわけですから、どんどんお進めになった方がいいと思ひます。そして薬害のない牛乳をみんなに提供していく。

熊本県の小国という村ではすでにそれをやっております。牛の皮膚によく太陽光線をあて、牧草を与えておりますので、牛乳の質がすごくいい。そのために福岡県博多市場で、奪い合いになるほどよく売れているんです。

牧草の研究

次に牧草の話に移りますが、今回萱峠牧場へ行ってみましたら、オーチャードグラスが実に見事に繁っておつた。あれを見て安心しました。まだまだ広げられると思つたんです。できればイネ科の牧草だけでなく、豆科の牧草も植えてみたらどうでしょうか。収量は

幸い畜産は若いやる気のある人たちが、多く育っていると聞いています。みなさんが力を合わせて、今で私が見てきたことが実現してまいりますと、畜産は山古志の重要な産業の一つとして、成長を続けることができるのではないのでしょうか。私はそう思ひます。

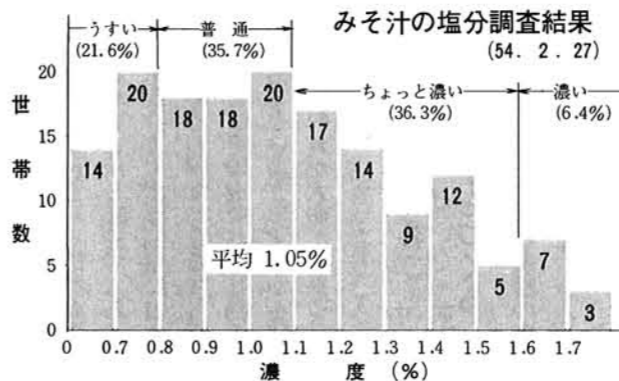
成人病予防

塩分のとりすぎに注意

昭和五十二年に成人病で亡くなった人は約四十二万人、総死亡者のなんと六〇・七%を占めています。内訳は脳卒中二四・六%、がん二一・一%、心臓病一五・〇%、亡くなった人のうち、四人に一人が脳卒中、五人に一人ががん、六・五人に一人が心臓病ということになります。

さて、この成人病の一番の「元凶」といわれる高血圧。しかも、四十代で二六%、五十代が三〇%、六十代は四二%、七十代になると五四%が、高血圧者なのです。高血圧の原因は、日常の食生活が大きく影響しています。大食、肥満、酒、タバコなど。特に塩分のとり過ぎが最大の原因です。そこで、この塩分について考えてみましょう。

みそ汁の塩分調査
結果から
私たちの毎日の食事に欠かせないみそ汁——しかし、これが高血圧の「モト」となっていたとしたらたいへんです。



山古志村では濃いみそ汁を好むといわれていますが、はたしてどうなんでしょうか。このため二月末にみそ汁の塩分調査を行い、百五十七世帯の方にご協力をいただきました。

結果はグラフの通りとなりました。普通のみそ汁の濃さは、塩分の濃度が〇・八〜一・一%といわれていますが、これ以下は九十世帯(五七・三%)、これより濃かったのは六十七世帯(四一・七%)

もありました。また、濃度一・六%以上のしょっぱいと感じるみそ汁も十世帯あり、全体として、やはりちょっと濃いようです。



一日15g以下、高血圧の人は一日10g以下に

寒い地方の人は特にしょっぱいものを好むといわれていますが、普通の食事の場合、塩分は一日一五g以下に抑えたいものです。特に血圧の高い人は一〇g以下に制限しなければなりません。

みそ汁については、塩分の濃度一・〇%のもので一杯につき塩分約一・五g。これを一日三杯飲んだとすると、これだけで四・五gになります。濃いみそ汁を何杯も飲むという習慣はなくしたいものです。

また、それぞれの塩分の含有量は表のとおりですから、これらを目安にしてください。この中で目立つのは、つけ物、魚の加工品、それにインスタントラーメン、そばやうどんの「つゆ」に多く含まれています。「しょっぱいもんをぶちやるとバチがあたる」なんて言わないでください。それぞれの家庭の味は、長い間

かけて作られてきたもので、簡単には変えられないでしょうが、少しずつ薄味にしてください。なお、野菜やくだものに多く含まれています。

まれているカリウムは、塩分のナトリウムを体外へ排せつする作用がありますので、血圧低下に効果があります。

塩分含有量表

食品名	分量	塩分量	食品名	分量	塩分量
食塩	小さじ1杯	5.0g	塩 鮭	小 1 切	4.9g
しょうゆ	大きじ1杯	3.0	いわしみりん干	2 尾	1.2
みそ(辛)	〃	1.9	めざし	〃	1.0
ソース	〃	1.2	しらす干	大きじ1杯	0.6
ケチャップ	〃	0.5	いかの塩辛	〃	2.0
マヨネーズ	〃	0.4	かまぼこ	2 切	1.6
ドレッシング	〃	0.4	焼ちくわ	1 本	3.0
バター、マーガリン	〃	0.3	半べん	大 1 枚	1.6
食パン	2 切	2.0	さつまあげ	〃	1.9
茄うどん	1 玉	1.4	さけ水煮缶	1 缶	2.9
うどん、そばのつゆ	1 人前	4.5	ハム	うす切2枚	1.0
親子丼	〃	4.0	梅干	1 箇	1.5
カツ丼	〃	3.0	たくあん	2 切	1.4
インスタントラーメン	1 箇	6.0	白菜漬	葉 1 枚	2.3
塩せんべい	大 1 枚	0.3	福神漬	大きじ1杯	2.6
しょうゆ串だんご	1 串	0.7	わさび漬	〃	0.8
こぶ茶	添付きじ1杯	0.3	奈良漬	2 切	0.7
吸もの	1 杯	1.2	紅しょうが	小 1 箇	1.0

ご協力ください

村道の測量を行います

昨年五月より始めた村道の測量を、雪消えと同時に再開します。村道の正確な現況を把握するために行うもので、昭和五十五年までかかる見込みです。測量は測量会社に委託して行いますが、その際みなさんの所有地に立入ることもあろうかと思いますが、ご了承ください。また、打った測量釘は絶対動かしませんようお願いいたします。

(建設課)

国民年金

年金の届出は すみやかに

進学や就職・転勤などのシーズン。また、そろそろ出稼ぎから帰ってくるころです。

このころになると、「ふだん気を配っていた大切な事をついつかり忘れてしまい、気がついた時はもう後の祭りだった」などという話をよく耳にします。

さて、国民年金もわたしたちの生活の基礎といえる重要なものです。ここで大切なことは、年金制度の空白期間を作らないように注意することです。

国民年金に加入していた人が会社や工場に勤めた時は「国民年金の喪失届」を、逆に会社や工場をやめた時は「国民年金の取得届」を、すみやかに役場に届出なければなりません。この手続きは年金に加入している人にとって、保険料を掛けることと同じくらい大切なことです。

出稼ぎしている人は帰ってきたら、すぐに役場に届出てください。



昭和54年

牛の角突き日程

5月3日より開催

ことしの角突き日程が決まりました。五月二日から表のとおり開催されます。

特に六月十七日は、昨年度の重要無形民俗文化財に指定されたことを記念して開催され、勢子が昔の衣装を身につけて行われます。

月	山古志会場(池谷)	虫亀会場
5月	3日(木)・20日(日)	13日(日)
6月	17日(日)	10日(日)
7月	15日(日)	8日(日)
8月	2日(木)・15日(水)	13日(月)
9月	16日(日)・23日(日)	9日(日)
10月	21日(日)	14日(日)
11月	3日(土)	11日(日)
計	10回	7回

八犬伝

八犬伝とその作者

佐野 勇次郎

(111)

前回とは、木に竹のような話で恐縮になるが、八犬伝とその作者と題してそのいろを拾って、村民の方々にご紹介を目標にしたものであるが、それは八犬伝のなかに江戸末期の頃の、わが二十村郷の奇習「牛の角突き」が紹介されている縁故からであった。ところがよく考えて見ると、村の方々は八犬伝に記載されていると云う話は知っていても、その記事を実際読まれた方は限られた人だけであろう事に気づいたのである。と云うのは元木沢村の小学校長の故星野亀吉先生が、自費を持って「不思議のお祭り、闘牛の神事」と題された小冊子出版され、その中にこの記事の約半分程度、文字を今様に訳されて載せられている。その本が当時の各村の有力者に寄贈された。それを読まれた方々だけであろうと思われるからである。私も機会があったらとは「よもやま」に記した事はあるが、八犬伝の原書は難読である事、又文字その儘を写すと現代既に使われていないもの、あて文字をもって書かれている事、それを勝手に修正文字にする

れば原文をおかす恐れも出てくる。ふり仮名をつけることすれば片端しからで、印刷の事も考慮される。更に平仮名のみにするば意味が通じない点が出てくる。よもやまの文字数からして、この記事で最終となる虫亀村での出来事を入れると四年位はかかる理由で遠慮していたが、私も年輩である。今をのがしては紹介する機会を失ってしまう事を意識して、今様文字に訳して載せる事に踏み切ったのである。既に月々に配して昭和五十六年度分までは訳し終っている。私は主人公犬田小文吾が小千谷の旅館から始まり、二十村の角突場に案内して来た鯨守磯九郎が、帰路相川村の驛路で男女の賊に殺される処までをもつてしている。これで二十村の記事は全部載る事になるからだ。

そのあとは、八犬伝と作者の滝沢馬琴それにこの記事に欠かさない南魚沼郡の文人鈴木牧之の事などを拾って紹介する意である。兎に角江戸の昔、越後の片田舎の行事を世に紹介した貴重な記録ともいえるべきものを目を通していただきたい。